

# 「アルテミス計画における科学」への 国際宇宙探査専門委員会の取り組み

令和2年(2020年)11月13日

国際宇宙探査専門委員会

稲富 裕光

- アルテミス計画における科学について、本専門委員会にてアイデアが提案され、その一部は分科会にて検討（※）が進められている。

各アイデアは、宇宙科学・探査の大目標

- 天文学・宇宙物理学分野： 宇宙の空間と物質の起源の理解、宇宙における生命の可能性の探求
- 太陽系探査科学分野： 太陽系と生命がどの様に生まれ進化して現在に至ったかを解明する
- 宇宙工学分野： より遠く、より自在に、より高度に

を見据えたものとなっている。

● 月そのものの科学

資源・環境・内部構造の理解(分科会で検討中)

● 月面からの科学

天文観測、宇宙天気、宇宙線観測、重力波望遠鏡

● 月面を利用した科学

月以遠での科学探査技術の獲得(分科会で検討中)、宇宙における生命の存在可能性の探求、ムーンブリッジなど人類の活動圏拡大、宇宙防災

※理工連携・産学連携・データサイエンスの視点をも踏まえて検討。

- アルテミス計画を取り巻く状況変化へタイムリーに対応するべく、多様な分野からの意見をより多く取り入れ、調査・検討を加速するための具体的方策を国際宇宙探査センターと共に検討中。

- 搭載機器および関連する工学については、検討している研究者が多く存在する。よって、それらの活動をきちんと把握してテーブルの上にアイデアを広げてあるような状態を本委員会で作った上で、出来る限りミッション検討段階から参画することとする。